

『トラブルを解決しよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わか る	1. 今日の目標を知る。	<p>○今日はトラブルを解決する方法について学習します。グループで話し合ったり、発表してもらったりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがったりせずに積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○今日はトラブルの解決について学習します。</p> <p>○生活していると、いろいろなトラブルが起こります。これまでどのようなトラブルに巻き込まれたことがありますか。</p> <p>○トラブルに巻き込まれたときはどのように対処していますか。</p> <p>○「自分は悪くない」と思っていたら、自分から謝ることはしないですね。相手の気持ちが分からなければ、話し掛けることもできなくなるかも知れません。また、身の回りでトラブルを抱えている人がいて、集団の雰囲気が悪くなってしまった場合、当事者だけではなかなか解決できなくなります。</p> <p>○今日は特に第三者として、トラブルを上手に解決する方法を学びます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を説明する。 ・生徒に発表させる。 ・「自分で考える、相談する」「自分が悪かったら謝る」「友達に仲介を頼む」「そのままにする」など
<p>トラブルを解決するための練習をしよう</p>			
	2. トラブルを解決するポイントを知る。	<p>○トラブルを解決するには、あるパターンに従って行動する方がいいでしょう。そのパターンについて説明します。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【トラブルを解決するポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①解決のイメージ化 ②問題の明確化 ③解決法の案出 ④解決の具体的な計画 ⑤結果の予想 </div> <p>○まず、どのようなことを望んでいるのか、解決した後をイメージ化します。次に何が問題となっているのか、問題点を明確にします。その後、解決法をできるだけたくさん考え、解決に向けてどのように進めていくか計画を立てます。最後にその計画を実施するとどうなるのか結果を予想します。トラブルを解決するためには、このステップを踏んでいきます。</p>	<p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決のパターンを理解させ、ワークシートに記入させる。

<p>や っ て み る</p>	<p>3. トラブルを解決するポイントに従って練習①をする。</p>	<p>○解決のポイントを学んだので、それを使って、4人グループで実際に練習してみましょう。</p> <p>○まず、(1)(2)について考えてみましょう。</p> <p>○(1)を確認しましょう。</p> <p>○(2)を確認しましょう。何が解決の妨げになっていると思いますか。</p> <p>○問題を明確にするというのは、このようなことです。</p> <p>○次は、(3)(4)を考えましょう。</p> <p>○4人グループで考えを出し合って、トラブルを解決してください。</p> <p>○(3)については、解決に向けた、たくさんの考えを出してほしいと思います。1人5枚ずつの付箋を配布していますので、それに自分の考える解決策を、1枚に一つずつ書いて、班の真ん中に出してください。どのような小さなことでもよいので、できるだけたくさん記入しましょう。</p> <p>○解決策はたくさん出ましたか。では(4)に進みます。(4)では、(3)で出した解決策をどのように進めていくか整理していきます。(3)で出した解決策を一つずつ検討し、同じような内容のものは重ねます。まとまったら、実行可能なものを検討して並べましょう。</p> <p>○広い用紙に「解決の具体的な計画」を書き込みましょう。</p> <p>○どのような計画を立てたか、いくつかのグループに紹介してもらいます。</p>	<p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例をじっくり読ませ、状況を把握させる。 ・(1)を口頭で確認する。発表させ板書してもよい。 ・(2)を口頭で確認する。発表させ板書してもよい。 ・付箋を一人5枚ずつ、広い用紙を班に1枚ずつ配布する。 ・(3)は付箋に一人5枚ずつくらい書かせる。 ・(4)は配布しておいた広い用紙に記入させる。 ・各グループの活動を観察し、必要に応じて指示する。 ・いくつかのグループに発表させる。 ・ワークシート(解答例)を配布して、確認させてもよい。
<p>ふ り か え る</p>	<p>4. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日はトラブルを解決するポイントを学びました。今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>○トラブルを解決するためには、ワークシートにあるようなポイントに従って進めることが大切です。また、(5)の後には、計画に従って実施します。うまくいったところやうまくいかなかったところを確認します。解決できなかったときはもう一度、解決策や計画を修正します。もし、自分たちで解決できそうにないと感じた場合は他の人に援助をお願いする場合もあります。</p> <p>○トラブルが発生したときに、感情のままに動いてしまうと、さらに問題は大きくなって、解決は難しくなります。トラブルに巻き込まれたときは、今日学んだトラブルを解決するポイントを思い出してください。冷静に、問題や自分を見つめ、たくさんの解決法を考えることで、解決への方向性が見えてくると思</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを記入させる。 ・「⑤結果の予想」の次に「⑥実施する」「⑦修正する」「⑧依頼する」を付け加えて、解決のパターンを再度確認する。 ・客観的に行動することの大切さに気付かせる。

		います。	
--	--	------	--

2. モデリングシナリオ

「⑫トラブルの解決策を考える」の活動プログラムは、その他のスキルとはアプローチの仕方が違うため、モデリングはありません。

3. 活用場面のアレンジ例

「⑫トラブルの解決策を考える」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

友達とけんかしたとき
友達に誤解されたとき
先生とうまくいかないとき
仲間割れで困ったとき
ものの取り合いがあるとき
話し合いでもめたとき
協力してくれない子がいる
友達が約束を守ってくれないとき
人の物を壊してしまったとき
貸したものが戻ってこないとき
先輩・後輩とうまくいっていないとき
個人的なことを尋ねられたり、書かされたりするとき
商品の購入や団体への加入を勧誘されたとき